

2. 事業の概要と成果	
(1) 上位目標の達成度	ドンナイ省、ラムドン省でインクルージョン教育研修システムが構築され、他省のモデルとなっている。ドンナイ省、ラムドン省の障害ある児童の就学率が増加する。
(2) 事業内容	1. <u>キーティーチャーの育成（各地区の指導者研修）を計画通り実施した。</u> <u>ラムドン省のキーティーチャーに対する中級障害児教育研修</u> 当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人 3 名を含む）が、ラムドン省の 30 名のキーティーチャーに対して、中級障害児教育 2 週間研修を実施した。 知的障害児教育研修 15 名 < 6 月 23 日（月）～ 7 月 4 日（金）> 聴覚障害児教育研修 15 名 < 7 月 7 日（月）～ 7 月 18 日（金）> <u>ドンナイ省のキーティーチャーに対する上級障害児教育研修</u> 当会が結成したホーチミン市障害児教育専門家チーム（日本人 3 名を含む）が、ドンナイ省の 31 名のキーティーチャーに対して、上級障害児教育 2 週間研修を実施した。 知的障害児教育研修 16 名 < 6 月 25 日（水）～ 7 月 8 日（火）> 聴覚障害児教育研修 15 名 < 6 月 25 日（水）～ 7 月 8 日（火）> 2. <u>各小学校の校内指導教師研修を計画通り実施した。</u> 当会が結成したホーチミン市の障害児教育専門家チームが、ドンナイ省とラムドン省で、それぞれ 200 名（各小学校 1 名～3 名）を対象にしたインクルージョン教育研修を、それぞれ 1 回 3 日間、3 回実施した。 ラムドン省知的障害児教育 1 67 名 <10 月 27 日（月）～10 月 29 日（水）> ラムドン省聴覚障害児教育 68 名 <10 月 27 日（月）～10 月 29 日（水）> ラムドン省知的障害児教育 2 66 名 <10 月 29 日（水）～10 月 31 日（木）> ドンナイ省知的障害児教育 1 68 名 <10 月 27 日（月）～10 月 29 日（水）> ドンナイ省聴覚障害児教育 65 名 <11 月 3 日（月）～11 月 5 日（水）> ドンナイ省知的障害児教育 2 67 名 <10 月 29 日（水）～10 月 31 日（木）>

	3. <u>各地区の地区内研修</u> (ドンナイ省教育局、ラムドン省教育局の費用負担) * 別添 1～別添 8 に詳細 ドンナイ省とラムドン省の各地区では、各地区 3 のキーティーチャーが自身の所属する地区内の障害ある児童を受け持つすべての教師に対して、必要時研修を実施した。 ラムドン省は、12 地区の内 11 地区が 8 月～10 月の期間に研修を実施した。講師は各地区のキーティーチャー、期間は 1 日間から 3 日間、テキストは夏のキーティーチャー研修で使用した当団体のテキストを各キーティーチャーが再編して使用した。 ドンナイ省では、11 地区の内 9 地区が 8 月～10 月の期間に研修を実施した。講師は各地区のキーティーチャー、期間は 1 日間から 2 日間、テキストは夏のキーティーチャー研修で使用した当団体のテキストを各キーティーチャーが再編して使用した。 4. <u>各小学校の校内研修</u> (ドンナイ省教育局、ラムドン省教育局の費用負担) * 別添 1～別添 8 に詳細 ドンナイ省とラムドン省の各小学校では、専門家により育成された校内指導教師や、キーティーチャーが、障害ある児童を受け持つすべての教師に対して、必要に応じて研修を実施した。
(3) 達成された成果	<ラムドン省> 別添 1～別添 4 に詳細 <u>A. 児童の就学率</u> 1. 障害ある児童の【1 年目 35%以上】が近隣の公立学校に通って、授業を受け、生活も向上している。 2. 近隣の小学校へ通う障害ある児童の中で退学者が【現在調査中】である。 <u>B. インクルージョン教育研修システムの構築の進捗</u> 1. 必要時に研修を実施している小学校の割合が【1 年目 70%以上】である。 2. 年 1 回以上研修を実施している地区の割合が【1 年目 100%以上】である。 <ドンナイ省> 別添 5～別添 8 に詳細 <u>A. 児童の就学率</u> 1. 障害ある児童の【1 年目 90%以上】が近隣の公立学校に通って、授業を受け、生活も向上している。 2. 近隣の小学校へ通う障害ある児童の中で退学者が【1 年目 0%】である。 <u>B. インクルージョン教育研修システムの構築の進捗</u> 1. 研修を実施している小学校の割合が【1 年目 100%以上】である。 2. 全地区内で毎年 1 回以上研修ができている。 ドンナイ省全 11 地区の内、2014 年度は 9 地区が研修を実施した。

(4) 持続発展性	3年間の事業実施の中で、当団体は1. <u>キーティーチャーの育成</u>に最大の力を注いでいる。2. <u>各小学校のリソースチームの結成</u>についてもアジア・レインボーはモニタリングの際、各研修の際、各小学校の関係者に促している。 1. キーティーチャーが地区研修を実施できる実力がつくと、毎年地区研修が実施される——▶ 2. 地区研修後、各小学校のリソースチームが各小学校で研修を実施する。 1. <u>キーティーチャーの育成</u> 2. <u>各小学校のリソースチームの結成</u>がより強固になれば、永続的に必要時に各地区、各小学校でインクルージョン教育研修が実施される。 ベトナム政府は、インクルージョン教育に従事する教師の給与を現行の1.3倍にすることを閣議決定した。また、特別支援教育に従事する職員の給与は1.7倍にすることも閣議決定して実際に実施されている。ベトナムではインクルージョン教育のニーズは年々高まってきていて、インクルージョン教育を支援する政府の制度も年々実施されるようになってきている。それゆえ、キーティーチャーや各省の教育局、各地区の教育室、各小学校の関係者のインクルージョン教育に対するモチベーションも年々高まってきている。
------------------	--